

中期経営計画の理念 ～我々は“なぜ”「本業支援」に取り組むのか？～

必要としている支援を受けられていない中小企業の皆さまの力となるため

地元の復興ならびに地方創生に貢献するため

じもと
グループの
目指す姿

- 「本業支援」でお客さまの喜びと成長を通して、地域経済の発展・地方創生に貢献していく。
- グループの統合効果を最大限に発揮し、地元の復興の一助となる。
- グループの収益確保と財務の健全性確保に努め、安定した顧客基盤、収益基盤を確立する。

キーワード
Keyword

顧客本位の
本業支援

統合効果発揮

中期経営計画の柱

2019年 施策

持続可能なビジネスモデルの確立 ～「本業支援」を核とする～

- 本業支援を核とする中小企業成長戦略の展開
- 仙台地区におけるじもとグループの存在感向上
- IT・FinTechへの対応

効率化・合理化 ～グループ業務運営態勢再構築～

- グループ業務運営態勢の見直し
- グループのメリットを活かした更なるコスト削減
- RPAによる業務効率化

ガバナンス態勢の強化

- 監査等委員会設置会社への移行

計数計画と経営指標

	2018/3期 (始期)	2019/3期 実績	2019/9期(中間期) 実績	2020/3期 計画	2021/3期 計画
コア業務純益	44億円	41億円	17億円	50億円	62億円
当期(中間)純利益	34億円	18億円	9億円	30億円	40億円
コアOHR	85.27%	85.74%	87.05%	83.39%	79.95%
預金平残	23,131億円	23,063億円	22,978億円	23,585億円	24,020億円
貸出金平残	16,689億円	17,029億円	17,350億円	17,436億円	17,955億円
自己資本比率	8.70%	8.39%	8.24%	8.41%	8.35%
顧客向けサービス 業務利益(始期比増加額)	▲28億円 (-)	▲15億円 (+13億円)	▲5億円 (+23億円)	▲11億円 (+17億円)	1億円 (+29億円)

※顧客向けサービス利益=貸出残高×預貸金利回り差+役員取引等利益-営業経費

2019年の主な取り組み

本業支援のサービス強化

きらやか銀行では、従業員様向け「ふっくりパッケージ」の内容を拡充、仙台銀行では、クラウド型本業支援プラットフォーム「Sendai Big Advance」を導入し、本業支援のサービスを強化しました。



市場金融部門の証券管理事務業務を統一

じもとホールディングス内に市場金融部証券管理課を新設し、両行の共通業務をじもとホールディングスが一本化して行うことで、グループ全体での業務効率化を実現しました。

